

# 第1回 市民ワークショップ オリエンテーションと、グループ作業を行いました

9月17日（日）支所2階で「朝陽地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

市から、長野市の現状や課題などについて説明し、その後グループごとに「長野市の公共施設を使って気になったこと」を出し合い、「朝陽地区を含めた、これからの公共施設に求められる機能・サービス」を話し合い、発表を行いました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。次回もよろしくお願いいたします。

グループ作業の様子です



朝陽地区住民自治協議会の川又総務部会長から「総合施設建設に向けての検討委員会」の状況も説明いただきました。

今後の予定		内容（予定）	会場
第2回	10月21日（土）	グループ討議 テーマ ～地区の公共施設の課題と、支所・公民館の将来像について話し合おう～	朝陽支所 （2階）
第3回	11月18日（土）	グループ討議 テーマ ～朝陽地区の公共施設の将来像をまとめよう～ ◇意見発表～まとめ	

いずれも時間は午前10時から12時までです。

◇第2回目は本格的なグループ討議が始まります。特に若い方、ぜひ会場にお越しください。飛び入り参加も大歓迎です。

◇長野市公式ホームページ「公共施設マネジメント推進課」に当日の資料などを掲載しますので、ご覧ください。

【お問い合わせ先】  
公共施設マネジメント推進課  
電話：224-7592  
朝陽支所 電話：243-7293



# 参加メンバーからのご意見の一部を紹介します



## 【公共施設を使ってみて～良い点～】

- ◇無料で、あるいは安い料金で利用できる。
- ◇身近なところに施設がある。朝陽支所は地区の中心にあって良い。
- ◇施設職員が親切に対応してくれた。ふれあいセンター等は、中高生が気軽に利用している。
- ◇サークル活動やボランティア活動で気軽に利用できる。
- ◇トイレがきれい。バリアフリーに配慮されている。市役所第一庁舎がきれいになった。
- ◇オリンピック施設もあり、文化活動の拠点が充実している。

## 【公共施設を使ってみて～悪い点～】

- ◆駐車場が狭い。市役所の駐車場が出入りしづらい。
- ◆施設の配置が偏っている。交通の便が悪い。
- ◆施設の老朽化が進んでいる。和式のトイレがある。
- ◆公共施設は、デザインも含め立派なものはいらないのではないか。
- ◆オリンピック施設は負の遺産でもある。今後どうしていくのか。
- ◆二階建ての建物にはエレベーターが必要。災害時の防災拠点になっていない。
- ◆施設の利用時間が短い。システムでの予約が取りづらい。使用料金の支払いがわかりづらい。



## 【これからの公共施設に求める機能・サービス】

- ◇用途を限定せずに沢山の用途に使うことが出来る施設がほしい。
- ◇Webでの申し込みなど、施設の利用・予約方法を工夫する。
- ◇災害時の避難所としての拠点機能を。障がい者対応を。子どもたちの集合場所になる所を。
- ◇カフェやコンビニを入れるなど、施設の魅力を高めることが必要。見た目のカッコ良さ。
- ◇駐車場を広く整備する。施設の集約化・総合施設にする。
- ◇国道18号長野東バイパスの開通をうまく活用した施設整備。朝陽地区に大きな公園が必要。
- ◇高齢者が利用しやすい交通網の整備を検討する。自転車走りやすい道路整備を。
- ◇世代間の交流ができる施設。どの世代でも使える工夫を。
- ◇施設をまとめて維持管理費用の節減を図る。民間活力の導入については賛否両方がある。

## 参加者アンケートのご意見を紹介します

- 時間が短い。もっと地元朝陽地区についての議論が出来れば良かった。付箋に記入するのが忙しく、もっと意見を言う時間が欲しかった。市有施設だけでなく国や民間施設も視野に入れる。
- 意見は聞きましたというような既成事実をつくるためのワークショップにしないで欲しい。
- 良い経験ができた。ストレス解消にもなった。年代を超えて縦断的に話あうことができた。
- これからのワークショップの結果について、まとめて、市の対応等を具体的に整理し、報告して頂きたい（「前向きに検討します」は希望しない）



◇第1回の結果を、広報ながの10月号にあわせて回覧しています。  
第2回の結果は、広報11月号にあわせて回覧します。お楽しみに！

